

化学物質過敏症の方のためのまちづくりに関する基礎研究 アンケートによる意識調査と自治体の対応について

Basic research on urban development for hypersensitivity to chemical substances Awareness survey by questionnaire and response of local governments

○鬼澤美妃¹, 田中賢²*Miki Onizawa¹, Yasushi Tanaka²

Hyperesthesia of chemicals is the new disease with which a name of disease was registered in 2009. Wide recognition isn't obtained yet because it's a new disease, and while not noticing, there may be a person who develops hyperesthesia, too. A questionnaire survey about hyperesthesia was performed by this research. I investigated correspondence of an autonomous body. The thing by which many people tend to make the feeling bad for the smell which causes a hyperesthesia person could be confirmed by this research. The home page corresponding to hyperesthesia of an autonomous body as well as that were confirmed.

1. はじめに

「化学物質過敏症（以下、過敏症）」は2009年に病名が登録された新しい疾病である。過敏症とは、様々な種類の微量化学物質に反応し頭痛やめまい、吐き気などの症状がある。発症者は全国で成人約70万人と推計されており、子どもも含めると100万人程度になると予測される¹⁾。「香り」は今や個人の好みの問題ではなく「香害」になっている²⁾。自治体も支援や啓蒙普及を行っているが十分とは言えない。都道府県庁のHPに過敏症関連の掲載があるのは47都道府県中20都県だけ、市区では50市区である。兵庫県は5市で記載があり最多である（2021年6月末現在）³⁾。

2. 研究の目的

近年メディアやSNSで取り上げられている過敏症だが、自覚症状がない又は軽度で診断されていない当事者も多いのではないかと考えられる。本稿ではそのような過敏症グレーゾーン対象者がどれくらいいるのか調査する。また、軽度の症状でも気軽に相談や情報収集が十分にできるのかを自治体HPにて調査し、今後の対応について検討する。

3. 調査方法

3-1. アンケート調査方法

過敏症に関するWebアンケート調査を実施した。調査対象は一般の成人500人（20歳から69歳、男女各250名）。実施時期は2021年8月である。

3-2. HP調査方法

都道府県庁のHPに過敏症関連の掲載があった20都道府県を対象に掲載内容の調査を実施した。

4. 調査結果

4-1. アンケート調査結果

過敏症と医師から診断されている人の割合は国立公衆衛生院（2000年）のデータとほぼ同一で0.8%である。また、「診断はされていないが過敏症の傾向を自覚している人」は4%、「過敏症ではないと思うが人より過敏な自覚がある人」は8.8%であった（Table1）。

Table1. Awareness of hypersensitivity

あなたは化学物質過敏症ですか。	回答数	%
化学物質過敏症として医師から診断された。	4	0.8
医師には相談したが診断されなかった。	5	1
医師に相談していないが、化学物質過敏症の傾向はあると思う。	20	4
若干、他人より過敏だが、化学物質過敏症ではないと思う。	44	8.8
化学物質過敏症ではない。	427	85.4
合計	500	100

「他人の臭いで気分が悪くなるか」という質問において「よく気分が悪くなる・たまに気分が悪くなる」と答えた割合が、タバコ54.8%、整髪料や香水40.2%、防虫剤29.6%、クリーニング20.6%であった（Table2）。これらは全てTable1の「過敏症と診断された人」「過敏症を自覚している人」「他人より過敏な自覚がある人」の合計を上回っている。

以上の結果から、過敏症の傾向を自覚している人以外にも、様々な臭いで気分を悪くする者が多くいることが分かった。

Table2. How to feel the smell

他人の整髪料や香水の臭い	回答数	%	他人の衣服のクリーニングの臭い	回答数	%
よく気分が悪くなる	30	6	よく気分が悪くなる	16	3.2
たまに気分が悪くなる	171	34.2	たまに気分が悪くなる	87	17.4
あまり気にならない	142	28.4	あまり気にならない	196	39.2
気にならない	161	32.2	気にならない	204	40.8
合計	500	100	合計	500	100

他人の衣服に付いたタバコの臭い	回答数	%	他人の衣服に付いた防虫剤の臭い	回答数	%
よく気分が悪くなる	89	17.8	よく気分が悪くなる	15	3
たまに気分が悪くなる	185	37	たまに気分が悪くなる	133	26.6
あまり気にならない	131	26.2	あまり気にならない	191	38.2
気にならない	101	20.2	気にならない	166	33.2
合計	500	100	合計	500	100

1：日大理工・院（前）・まち 2：日大理工・教員・まち

4-2. HP 調査結果

各ホームページを閲覧し内容をまとめた (Table3)。20 都県全てに「a.過敏症に関する説明」が記載されていた。多くは厚生省長期慢性疾患総合研究事業アレルギー研究班「化学物質過敏症～思いのほか身近な環境問題」パンフレットより引用していた。半数以上の県で「b.症状」「c.原因物質」「e.周囲への呼びかけ」が記載されていた。「b.症状」の項目では秋田、宮城、新潟で「自律神経障害」「内耳障害」などといったように、症状の種類ごとにまとめられており、29 種類の症状が記載されていた。「c.原因物質」の項目では、秋田が 17 種類の物質を紹介しており最も多かった。「e.周囲への呼びかけ」の項目では、山形、石川、島根で洗剤や柔軟剤使用時の注意を呼びかけており、加えて神奈川県、山梨、福井、広島、高知、佐賀では芳香剤、農薬などの使用の注意も呼びかけていた。「d.発症時の対処法」は神奈川県、山梨、島根、広島の 4 県で記載していた。神奈川県、山梨、広島では原因となる化学物質を避けるよう呼びかけており、島根はそれに加えて「バランスのとれた食生活、適度な運動や発汗、生活環境の改善」を呼びかけている。「f.シックハウス症候群に関する説明」は岐阜、福井、和歌山の 3 県で記載されており、岐阜ではシックハウス症候群特設ページにて過敏症に触れていた。「g.過敏症外来が設置されている病院」は高知のみに記載されていた。

調査の結果、記載内容や情報量にばらつきがあることが分かった。各都道府県、内容の更なる充実さが求められる。また、現在記載の無い 27 道府県の迅速な対応が求められる。また、過敏症外来の数はまだ少ないが、高知県のように近隣病院の外来情報などを記載する事によって、当事者の情報収集に役立つと考えられる。

5. まとめ

過敏症と診断されている者や自覚している者だけでなく、過敏症でない者にも様々な臭いで気分を悪くする者が多くいる事が分かった。また、各自治体でも特設ページが設けられるなどの対応も見られたが、まだ十分とは言えない。掲載のない 27 道府県の迅速な対応と、掲載がある 20 都県の内容の充実が求められる。「過敏症かも」と感じた者が情報を得やすいよう、近隣の過敏症外来に関する情報を記載するなどの改善が求められる。今後は当事者へのインタビュー調査などを行い、困りごとの事例を収集し、具体的な対応策について検討する予定である。

Table3. Contents of the homepage

	a. 説明	b. 症状	c. 原因物質	d. 対処法	e. 周囲の対応	f. シックハウス	g. 病院
秋田	○	○	○		○		
山形	○	○	○		○		
宮城	○	○	○		○		
茨城	○						
東京	○						
神奈川	○	○	○	○	○		
山梨	○	○		○	○		
新潟	○	○	○		○		
石川	○	○	○		○		
岐阜※1	○					○	
福井※2	○	○			○	○	
奈良	○	○	○		○		
和歌山	○	○			○	○	
鳥取	○	○	○				
岡山	○						
島根	○	○	○	○	○		
広島	○	○	○	○	○		
香川	○	○	○				
高知	○	○	○		○		○
佐賀	○	○			○		

※1 シックハウス症候群に関するページ

※2 シックハウス症候群・化学物質過敏症に関するページ

6. 参考文献

- [1] 認定 NPO 法人化学物質過敏症支援センターHP (2021 年 9 月閲覧)
- [2] 『頭痛、吐き気、めまい… “香りブーム” の裏で深刻化する「香害」』週刊朝日 2018 年 2 月 2 日
- [3] 47 都道府県庁の HP 内の検索機能に「化学物質過敏症」をキーワードに検索し 20 都県でヒットした。市役所の対応は、google 検索で「県名、化学物質過敏症」で検索した結果から求めた。